

日本のお手玉の会の会長を顕彰する「宮中雲子音楽祭・日本の合唱コンクール」が、11月17日、出身地の愛媛県西予市三瓶町の三瓶文化会館で行われました。

音楽祭には、愛媛県内や徳島県から合唱グループ15団体が参加して、自慢ののどを競いました。

この音楽祭は、宮中会長(詩人・日本童謡協会副会長)が、1996年に第8回サトウハチロー賞を受賞したのをきっかけに、地元で実行委員会を立ち上げ、西予市などとの共同主催で開催されていて、こしは16回目となります。

今年は、コンクール部門の少年少女の部に5団体、一般の部に7団体、フェスティバル部門に3団体が参加しました。

審査は、宮中会長の作詩、西澤健治作曲の「宇宙の渚」と、自由曲で行われました。課題曲の「宇宙の渚」は、昨年、日本のお手玉の会が開催した「第17回全国お手玉遊び大会」の交流会で、宮中会長の新曲として紹介したものです。

音楽祭では、合唱コンクールだけでなく、審査員を務める声楽家の中野慶子さんのミニコンサートや、同じく審査員の作曲家で歌手の宮崎渉さんによるトーク&ショーも行われ、会場の雰囲気盛り上げました。



コンクールの成績は、次のとおりです。

▽少年少女の部△金賞:上浮穴小学校(松山市)、銀賞:上町小学校(西予市)、銅賞:長浜中学校(大洲市)、審査員特別賞:日土小学校(八幡浜市)、実行委員会特別賞:三瓶小学校(西予市)▽一般の部△金賞:オニオンズ(徳島市)、銀賞:Chorsal(松山市)、銅賞:Ensemble Karasu(松山市)、審査員特別賞:Female Chorus道後(松山市)

第16回宮中雲子音楽祭日本の合唱コンクール開催
 ■故郷の詩人を顕彰して
 ■宮中会長作詞の課題曲「宇宙の渚」で歌声



愛媛新聞 2013年(平成25年)11月21日 木曜日

